

市制100周年記念イベント

第36回

みやざき

大島神社神楽



細江神楽

民俗

跡江豊年踊り

芸能



青島白太鼓踊り



まつり



杓掛親子雨太鼓

広原神楽



観覧
無料

令和6年 11月23日(土)

場所 / 宮崎市高千穂通り
山形屋前「ミリョク」発信エリア

開演 / 13:00 (終演予定15:30)

MIYAZAKI FOLKLORE
PERFORMANCE FESTIVAL



ごあいさつ

本日は、第36回みやざき民俗芸能まつりにご来場いただき、誠にありがとうございます。

豊かな自然に囲まれた私たちの郷土には、神楽や太鼓、唄や踊りなど、貴重なくらしの文化である民俗芸能が数多く残されております。現在、宮崎市内では民俗芸能登録団体が65団体活動しており、保存会の方々によって今日まで連綿と受け継がれてきました。

その中から、今回は6団体に神楽、踊り、太鼓の演目を披露していただきます。

近年は後継者不足などにより、伝承が難しくなっている芸能もございますが、今回、小中学生への伝承を積極的に行っている団体も出演いたします。本まつりを通して、多くの皆様に郷土の宝である民俗芸能に触れていただくことで、今後の伝承活動の活性化や励みにつながればと期待しております。

さて、今年4月に宮崎市は市制100周年を迎え、本まつりはその記念事業のひとつとして開催するものでございます。開催にあたって、幅広い層の皆さんに民俗芸能への理解と認識を高めることを目的とするとともに、屋外での開催という新たな試みを通じて、より多くの方に民俗芸能に興味を持っていただければ幸いです。

結びに、みやざき民俗芸能まつりの開催にあたり、ご協力いただきました関係者並びに、ご来場いただきました皆様のご多幸を祈念し、あいさついたします。

どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

令和6年11月23日

宮崎市長 清山 知憲

【目次】

◆出演芸能解説

沓掛親子雨太鼓 [宮崎市清武町沓掛]	1
跡江豊年踊り [宮崎市大字跡江]	2
広原神楽～綱切鬼神～ [宮崎市大字広原]	3
大島神社神楽～金山～ [宮崎市大島町]	4
細江神楽～杵舞～ [宮崎市大字細江]	5
青島白太鼓踊り [宮崎市青島]	6

◆コラム

宮崎市の民俗芸能	7
----------	---

杓掛親子雨太鼓

くっかけおやこあまだいこ

- ◆ 芸能所在地／宮崎市清武町杓掛
- ◆ 公開日／7月(清武まつり)、9月(地区敬老会)
- ◆ 公開場所／清武町内



戦国時代には陣太鼓として氣勢をあげるために使われていた太鼓が、明治時代以降、干ばつの際に荒平山(丸目山)頂上に担ぎ上げられ、雨乞いに利用されるようになりました。大小2個の太鼓それぞれに親鉦おやがねが1、子鉦こがねが10つくことから「親子雨太鼓」と呼ばれ、大太鼓を大人が、小太鼓を子供たちが叩きます。小さい太鼓は明治9年(1876)に楠をくりぬいて作られました。「雷雲号」と呼ばれる大太鼓は昭和10年(1935)に青井岳の「紅タブ」をくりぬいて作ったもので直径1.64メートルあります。

清武には元々、4つの大字があり、それぞれが異なる太鼓の叩き方を伝えていました。杓掛親子雨太鼓保存会は、大字今泉の叩き方を忠実に保存伝承しています。杓掛親子雨太鼓保存会では毎年の清武まつりなど地区の祭りに参加しています

	太 鼓	鉦		太 鼓	鉦
始	トントントン…連打	カンカンカン…連打	14	トントン	カラ
1	トントン	カララン	15	トン	カララランカララランカラ
2	トン	カララン	16	トートーン	カーンカランカラ
3	トン	カラ	17	トントントントン	カラランララン
4	トン	カラ	18	トントントントン	カラランララン
5	トン	カララン	19	トントン	カンカラ
6	トントントン	カン	20	トントン	カラララ
7	トン	カララン	21	トン	カラ
8	トン	カラランカン	22	トン	カラーカランカラ
9	トン	カンカン	23	トントン	カラ
10	トントントントン	カラ	24	トン	カラランカン
11	トートントン	カラ	25	トン	カラランカンカーン
12	トン	カラ	終	トンカントンカラ…連打	トンカントンカラ
13	トン	カラランカン			

◆ 出演者／杓掛親子雨太鼓保存会

- 〔親太鼓〕平原 和仁 田中 利彦 〔親 鉦〕戸高 政則
 〔子 鉦〕戸高 和彦 戸高 喜久雄 比江嶋 義正 平原 圭三 船ヶ山 啓司 井上 伊津男
 〔子太鼓〕近藤 祐助(中学2年) 戸高 正宗(小学6年)
 〔子 鉦〕黒木 すず(小学5年) 杉本 ナナミ(小学6年) 木原 瑠美(小学1年)

跡江豊年踊り

あとえほうねんおどり

◆芸能所在地／宮崎市大字跡江

◆公開日／5月、8月、9月

◆公開場所／跡江神社・他



豊年踊りは、旧暦8月7日の夏祭に五穀豊穡を祈願して、跡江神社・水神様・間越八坂神社・松橋八坂神社に奉納した踊りで、室町時代に始まり、継承されたものと言い伝えられています。編傘・手甲・脚絆を着け、腰に赤・白・青の三色の練り合わせのしめ縄を付け、左手に小さい太鼓、右手に扇子を持って踊ります。その年に新築された家にも出向き、家内安全を祈って「庭ふめ」をします。豊年踊りを奉納した夜には、先祖の霊を供養するために、地区の老若男女が総出で一晩中踊る三拍子踊りも行われていました。

跡江三拍子踊保存会は、豊年踊り・三拍子踊りを伝承しており、今回は、豊年踊りを披露いたします。

◆歌詞

- 一 沖の瀬の瀬のその瀬のおおださまがおこさによ
よいやーせえて暮す サーサーヨイヤーサー
木戸のえの木に鳴る鈴かけて 鈴が鳴る時や
よいやーせえてござれサーサーヨイヤーサー
木戸で手をうつな そうはとふくな親のとりが
よいや早ようござる サーサーヨイヤーサー
- 二 エーお伊勢に詣りて エー詣りてけいを見てやれば
エーお庭に植木を召されしは エーそのまた植木はなになにぞ
エー八重梅八重菊八重桜 エーから梅から菊からあおい
エーさてまた御殿の葺きようは エー前は三かい捨わた葺き
エー後はこ板のこけら葺き エーにほの妻のふきようは
エー青山どりのおんどりの エーうのはをそろえてふきいたよな
エーさりにてものようければ エーよあけがたのよこぐも
- 三 一つとさ 人の心も知りもせず 嫁入りせやとは胸欲な
ソレヤスコノ 道すけ よいわいな
二つとさ 文の文句はおほのやの おはんがたてる胸のなぞ
利平にとかせて よいわいな
三つとさ 見たいわいなと身をやつし 雪の降るのにかけはだし
それ兄弟 おうたらよいわいな
- 四 才山かめじよは 才山じゃ名取りならば ワッサツッサー
お江戸の御所もどり
あのれんかいさんは ちよんがでなんどは 名人でならば ワッサツッサー
屋平さんからはめられた
- 五 梅がえが ちよつばちたいたいて お金が出るならば
もしもお金が出たならば その時や身受けをそれ頼む
坊主頭にだいたい乗せて 乗るか乗らぬか乗せてみよ
もしも乗つたるその時は その時や身受けをそれ頼む
おはんちよえもん坂の下 土平の宿屋で借り枕
もしも身持ちになつたなら その時やつら川へ身を流す
- 六 さあさよいよい よいさてどうじゃ ヨイヨイ
さらばこれから何かな一つ トコヤットコセ ヨイヤナ
何を口説こか 出合いもないが ヨイヨイ
出合次第に利にのせましょか トコヤットコセ ヨイヤナ
五尺手拭染めわけて ヨイヨイ
合間すも間に小唄を書いて 文に取りそろえお渡しなされ
トコヤットコセ ヨイヤナ

◆出演者／跡江三拍子踊保存会

〔踊り手〕 川崎 初夫 日高 大進 河野 裕至 益田 光子 松本 初美 興梠 素花 広川 千代 日高 恵子
日高 とさえ 日高 厚子 河野 志津枝 日高 安久 日高 透子 日高 萬千代 川崎 孝文 黒岩 みち子

広原神楽 ～綱切鬼神～

ひろはらかぐら つなぎきじん

- ◆ 芸能所在地／宮崎市大字広原（広原神社）
- ◆ 公開日／3月、9月（春、秋の社日）、11月3日（例大祭）
12月31日（歳旦祭）
- ◆ 公開場所／不定



広原神社では現在、春の社日祭では「1番舞」と「老人剣」を、秋の社日祭および秋の大祭（文化の日に開催）では、番付のうち10番ほどを奉納しています。

今回披露する「綱切鬼神」は、イザナギノミコトが阿波岐原で禊（みそぎ）をした際に生まれたスサノオノミコトが大蛇を退治する様子を表現した一人舞です。鬼神の面を着けて、真剣を用いて舞うので、舞手と脇添えの息の合った動きが重要となります。蛇を模した綱を切るタイミングが難しい舞でもあります。

◆ 神楽番

1番舞	御清浄	14番舞	老人剣	27番舞	綱地舞
2番舞	勧請御祈念	15番舞	岩通（岩通し）	28番舞	綱荒神
3番舞	一番舞	16番舞	御笠地舞	29番舞	問神主
4番舞	花舞	17番舞	内宮御祈念	30番舞	綱切鬼神
5番舞	鬼神	18番舞	御笠荒神	31番舞	伊勢ノ神楽
6番舞	操卸（繰卸）	19番舞	問神主	32番舞	手力
7番舞	鬼神	20番舞	地祭り	33番舞	戸開
8番舞	將軍舞	21番舞	神武神楽	諸神法楽	
9番舞	芝荒神（柴荒神）	22番舞	七福神地舞	神送	
10番舞	問神主	23番舞	七福神	柱連上ゲ（注連縄）	
11番舞	四人剣	24番舞	曲舞	一同退（退出）	
12番舞	中央	25番舞	鬼神	※古老たちが覚えていた番付。 ※（ ）の中が正しいか。 ※全ては舞っていないかったようである。	
13番舞	中ノ手	26番舞	米後舞		

◆ 出演者／広原神楽保存会

〔舞手〕長友 良介 〔太鼓〕佐々木 竜也 外山 憲一 奥野 孝男

〔笛〕伊東 正治 〔鉦〕蛸原 信幸

〔脇添え〕藤原 栄伸 加藤 紀夫 川島 美水 工藤 亨弘 奥野 重雄 猪野 貞二 藤原 和公

大島神社神楽 ～金山～

おしまじんじゃかぐら かなやま

- ◆ 芸能所在地／宮崎市大島町(大島神社)
- ◆ 公開日／3月25日直前の日曜日、大晦日
- ◆ 公開場所／大島神社



大島神社神楽の由来は定かではありませんが、大島神社創建の頃より伝えられてきたといわれています。神社には、「天文五年(1536)丙申八月三十日再興」の棟札があることから、それ以前の伝承をうかがえます。例祭は春の3月25日と秋の11月10日、また夏祭りは旧暦の6月25日であり、春の例祭には神楽が奉納されてきました。また、神楽の間には厄払いの式典があります。田植え直前の時期に、厄払いと豊作祈願の神楽として舞い継がれてきました。

今回披露する「金山」は、独特の面構えで、空中を舞うような気力・体力を有する、大島神社神楽の最も自慢とするユーモアたっぷりな楽しい舞です。

◆ 神楽番付

1番舞	巫女舞	8番舞	三人剣	15番舞	将軍
2番舞	花舞	9番舞	奉仕者	16番舞	薙刀舞
3番舞	鬼神	10番舞	里人	17番舞	太玉
4番舞	三笠	11番舞	稲荷山	18番舞	四人剣
5番舞	二人剣	12番舞	陰陽	19番舞	杵舞
6番舞	金山	13番舞	神武		
7番舞	氏舞	14番舞	三笠荒神		

◆ 出演者／大島神社神楽保存会

〔舞手〕前田 章博 〔太鼓・小物〕児玉 光一 児玉 慎吾
〔篠笛〕木浦 剛 〔舞手補助〕日高 謙二

細江神楽 ～杵舞～

ほそえかぐら きねまい

◆芸能所在地／宮崎市大字細江(細江神社)

◆公開日／3月第1日曜日

◆公開場所／細江公民館



細江神社に古くから伝わる神楽で寛保2年(1742)に神殿を再興した頃から舞い継がれてきたと言われています。現在は毎年3月の第1日曜日に厄払いも兼ねて奉納されており、夕方から十数番舞われています。

この杵舞は、男女二神が抱擁し、夫婦となり、子孫繁栄を祈る様を、杵を持った男神とこの地方でセクムンと呼ばれる箕を持った女神との軽妙な所作で表現しており、最後に搗きあがった餅を撒く、めでたい舞です。

◆神楽番付

1番舞	法者舞	9番舞	子ども杵舞
2番舞	神酒舞	10番舞	地割
3番舞	鬼神	11番舞	地割鬼神
4番舞	素襖脱ぎ	12番舞	剣舞
5番舞	嫁女面	13番舞	田の神
6番舞	真似面(子ども)	14番舞	杵舞
7番舞	長刀	15番舞	繰り下し
8番舞	太玉	16番舞	神送り

◆出演者／細江神楽保存会

〔太鼓〕黒木 久男 〔男装〕高橋 康幸 高木 雄二 藤井 竜一 日高 哲郎

〔女装〕松浦 忠寿 〔控え〕高橋 秀則 高橋 鉄也

青島白太鼓踊り

あおしまうすだいこおどり

- ◆ 芸能所在地 / 宮崎市青島
- ◆ 公開日 / 8月盆頃(青島地区祖霊供養)
- ◆ 公開場所 / 青島地区



飢肥藩主伊東祐兵^{すけたけ}が豊臣秀吉の命を受け朝鮮出兵に加わった際、戦況不利となって敵に包囲され、これを突破するために、敵を威嚇し味方の軍の士気を鼓舞しようと踊ったと伝えられています。

宝永4年(1707)藩主から許され、毎年7月14・15日に踊られるようになり、その後、青島白太鼓踊りとして伝承されるようになったと云われています。

踊り手は、径二尺余りの太鼓を腹に抱えた太鼓組を中心に、鬼面及び紙囊をつけた面組^{かみみの}が取り囲むように円陣をつくり、唄・鉦^{かね}・笛に合わせて踊ります。太鼓組は左右に持ったばちを上段から振り下ろしながら叩き、面組は右手に杓子^{しゃくし}、左手にすりこぎ^{かいはん}(懐剣を意味します)を持ち、勇壮かつ躍動的に踊ります。

青島白太鼓踊りは、平成18年に宮崎県無形民俗文化財に指定されています。

◆ 歌詞(抜粋)

〔御所之松〕 ごしよのまつ

- ① 御社の御庭に参りて
- ② 参りてみればやら見事
- ③ しぼりし幕より見上ぐれば
- ④ 鏡にうつるもありがたや
- ⑤ ひいてものよおけには
- ⑥ 御庭の遊び面白や

〔神家白〕 かけうす

- ① おとの岩屋の 御所桜
ひげよなびげよ 枝ともに
- ② 早生が穂に出て 乱るれば
人の心が うれうれと
- ③ 沖のとなかに えい茶屋つけて
上り下りの船を待つ

◆ 出演者 / 青島白太鼓踊り保存会

- 〔面組〕弓削 友人 吉田 隆男 黒木 基靖 谷 知樹 黒木 幸治朗 佐藤 誠 中村 正史 濱野 直生
濱田 海斗 弓削 晴暉(中学2年) 濱田 景士(小学6年) 井上 あかり(小学5年) 井上 るり(小学2年)
- 〔太鼓組〕杉田 亮佑 岩切 昌宣 岩切 佑瑞己 〔唄組〕弓削 文人
〔鉦組〕岩切 久美子 弓削 多恵子 〔笛組〕弓削 有子
〔幟旗〕弓削 喜久 弓削 真理子 濱田 喜味代

コラム | 宮崎市 の 民俗芸能

神楽

神 楽というと、夜を徹して行われる夜神楽のイメージもありますが、宮崎市内の神楽は、ほとんどが昼間に行われます。主に春、稲や農作物の豊穰を期待し、家々の繁栄を願いながら舞を奉納します。「里神楽」や「春神楽」と呼ばれています。

神楽の演目も地域によって少しずつ異なります。例えば、田畑が広がる生目周辺では「田の神」との間答を行う演目があったり、海のそばの野島神社や青島神社では境内を大漁旗で飾り立て、釣竿を持って豊漁を祈願する舞があったりと、地域の暮らしとの結びつきを感じることができます。

写真は「火祈祷神楽」(大字有田)



太鼓

宮 崎市内には、太鼓を使った芸能も多く伝承されています。田野町の各地区に伝わる雨太鼓や、清武町沓掛の雨太鼓など、離れたところから見ても迫力ある大きさを、雨乞いにふさわしい力強い音を響き渡らせます。

清武町船引や青島地域に伝わる白太鼓踊りは、太鼓のリズムと踊りが組み合わさった演目になっています。いずれも、戦に際して味方を鼓舞するためや、戦に勝利する様子を描いて踊られた起源があり、勇壮かつ躍動的な姿で観衆を魅了します。

写真は「内海雨乞い太鼓」(大字内海)



踊り・唄

江戸時代に宮崎城主上井覚兼うわい かくけんが京都から取り入れ広めた幸若舞こうわがまいが起源とされる「和田の金閣寺踊り」や、興行で訪れていた力士たちによって伝えられた「木花相撲踊り」など、人や文化が行き交う時代の様子を特に感じることができるのが唄や踊りです。地域ごとに微妙に異なる盆踊りも、起源をたどれば大阪や江戸から伝わっているものが多く、それらは時間をかけて自分たちの地域に馴染むように形を変えながら伝承されてきました。

華やかな矢旗を背負う「城攻め踊り」や、小さな俵を持って踊る「俵踊り」など、踊りによって道具もさまざまです。

また沿岸部では、海上安全を祈願し豊漁を祈る神事の際に唄われる「浜下り唄」が伝承されています。

写真は(上)「上北方なぎなた踊り」(上北方)
(下)「恒久神社夏越の唄」(大字恒久)



獅子舞

歳旦としがとの神事で舞うほか、春に神楽とともに奉納されたり、夏や秋には神輿とともに地域内を練り歩き、躍動的な舞で住民たちの健康と繁栄を祈ります。

倉岡神社では、先導し人払いをする「ハレハレ」(「祓い、祓い」が訛ったもの)とともに地区内を練り歩きます。

写真は「大塚神社春神楽・夏祭獅子舞」(大塚町)



宮崎市民俗芸能登録団体

(令和6年現在)

★は市指定無形民俗文化財
◆は県指定無形民俗文化財

は今回出演芸能

	芸能名	所在地	[公開時期]
★1	野島神楽	大字内海(野島神社)	[1月1日、2月17日、3月(春分の日)、11月23日(秋の例祭)]
2	糸原棒踊り	大字糸原	[8月、10月、11月末]
3	奴踊り	大字広原	[不定期]
4	跡江三拍子踊り・豊年踊り	大字跡江	[5月(地区古墳祭)、8月(地区盆踊り)、9月(地区豊年祭)]
5	日平俵踊り	大字新名爪日平	[不定期]
6	神代神楽	下北方町(名田神社)	[4月下旬]
★7	木花相撲踊り	大字熊野	[7月上旬、8月中旬、11月上旬]
◆8	生目神楽	大字生目(生目神社)	[3月15日に近い土曜日(里神楽祭)]
9	大塚神社春神楽・夏祭獅子舞	大塚町(大塚神社)	[不定期]
10	火祈祷神楽	大字有田(白髭神社)	[12月第2土曜日]
11	和田の金閣寺踊り	池内町	[8月、9月]
12	吉村八幡神楽	吉村町(吉村八幡神社)	[3月の最終日曜日(春神楽まつり)]
13	奈古神社春神楽	南方町(奈古神社)	[4月の第1日曜日]
★14	高屋神社神楽	村角町(高屋神社)	[3月(春社日に近い日曜日)]
◆15	青島白太鼓踊り	青島	[8月盆頃(青島地区祖霊供養)]
16	上北方なぎなた踊り	上北方	[11月第1土曜日(例大祭)、11月23日に近い日曜日(文化祭)]
17	上小松俵踊り	大字小松	[11月(秋祭)]
18	広原神楽	大字広原(広原神社)	[3月/9月(春/秋の社日)、11月3日(例大祭)、12月31日(歳旦祭)]
19	下小松なぎなた踊り	大字小松	[不定期]
20	青島神社神楽	青島(青島神社)	[不定期]
21	十五夜踊り	山崎町	[旧暦8月15日]
22	恒久神社夏越の唄	大字恒久(恒久神社)	[7月最終日曜日(夏祭り)、9月(敬老会)11月(文化祭)]
23	島之内八幡神社神楽	大字島之内(島之内八幡神社)	[12月31日～1月1日、3月15日に近い日曜日、11月15日]
24	海を渡る祭礼浜下り唄	青島(青島神社)	[7月下旬の土・日曜日または8月上旬の土・日曜日]
25	倉岡神社ハレハレと獅子舞	大字糸原(倉岡神社)	[11月13日直前の日曜日(地区の体育大会実施の場合は翌年)]
26	大島神社神楽	大島町(大島神社)	[3月25日直前の日曜日、大晦日]
27	新名爪神楽	大字新名爪(新名爪八幡宮)	[3月中旬(春社日神楽)、9月中旬(秋社日神楽)]
28	江田神楽	阿波岐原町(江田神社)	[4月第3日曜日(社日祭)、11月23日(例大祭)]
29	上畑神楽	大字大瀬町(河上神社)	[不定期]
30	古城神社神楽	古城町時雨(古城神社)	[春分の日]
31	小松里神楽	上小松地区(小松神社)	[2月末(小松里神楽)]
32	一葉稲荷神社神楽	新別府町(一葉稲荷神社)	[3月18日に近い日曜日]
33	花ヶ島豊年踊り	花ヶ島町赤江町(水徳神社)	[旧暦8月13日]
34	守山神社夏祭祝唄	大字内海(守山神社)	[7月中旬(夏祭)]
35	内海雨乞い太鼓	大字内海	[不定期]
36	住吉神社神楽	大字塩路(住吉神社)	[1月1日(歳元祭)、2月11日(例祭)、3月社日(春の社日祭)]
37	長嶺神社神楽	大字長嶺(長嶺神社)	[3月、通年]
38	小松豊年踊り	大字小松	[旧暦8月14日(夏祭)]
★39	巨田神楽	佐土原町巨田	[11月9日、元旦]
★40	曾我兄弟踊り	佐土原町大炊田	[不定期]
★41	佐賀利いろは口説踊り	佐土原町佐賀利	[8月25日]
★42	田野町雨太鼓	田野町	[7月20日前後、8月最終土曜日]
★43	鷺瀬地区城攻め踊り	田野町鷺瀬	[8月]
44	高浜小白太鼓踊り	高岡町高浜	[不定期]
45	剣舞	高岡町浦之名深水	[不定期]
46	去川奴踊り	高岡町内山(高岡小)	[不定期]
47	俵踊り(上倉地区)	高岡町上倉永	[不定期]
48	坊さんしのぶ	高岡町下倉永	[不定期]
49	俵踊り(穆佐小)	高岡町小山田(穆佐小)	[不定期]
50	城攻め踊り(浦之名小)	高岡町浦之名	[不定期]
51	憶の盆踊り	憶地区	[3月、9月]
52	築地原棒踊り	田野町築地原	[不定期]
★53	井倉雨太鼓	田野町井倉	[7月第3日曜日、8月下旬]
★54	石久保雨太鼓	田野町石久保	[7月第3日曜日]
★55	上学ノ木雨太鼓	田野町上学ノ木	[7月20日前後、8月最終土曜日]
★56	七野雨太鼓	田野町七野	[8月下旬]
57	沓掛親子雨太鼓	清武町沓掛	[7月(清武まつり)、9月(敬老会)]
★58	船引白太鼓踊り	清武町船引	[9月敬老の日]
★59	はまくだり唄	清武町木原	[7月第3日曜日]
60	中野神楽	清武町下中野	[2月第3日曜日(祈念祭)]
◆61	船引神楽	清武町船引	[3月春分の日、12月31日～元旦]
62	細江神楽	大字細江(細江神社)	[3月第1日曜日]
★63	下北方六月踊り	下北方町	[4月下旬(春神楽)、9月20日(敬老会)、11月10日(名田神社例大祭)]
64	浮田神社春神楽	浮田地区(浮田神社)	[3月]
65	浜下り唄	田野町甲(田野天建神社)	[7月(田野天建神社祭り)]

第36回 みやざき

民俗芸能まつり

MIYAZAKI FOLKLORE PERFORMANCE FESTIVAL

———— プログラム ————

杓掛親子雨太鼓

跡江豊年踊り

広原神楽 ～綱切鬼神～

大島神社神楽 ～金山～

細江神楽 ～杵舞～

青島白太鼓踊り

[主催]

宮崎市・宮崎市教育委員会



お問合せ先／宮崎市教育委員会文化財課

TEL／0985-85-1178

E-mail／45bunsin@city.miyazaki.miyazaki.jp

【 宮崎市のホームページ <https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/> 】

▶ 告知動画はこちら

